

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 県立老人福祉施設設備等整備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3473)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 412,250 千円 (前年度予算額： 359,631 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	359,631	0	0	0	0	0	0	332,100	37,531
要求額	412,250	0	0	0	0	0	0	370,600	41,650
決定額	400,050	0	0	0	0	0	0	359,700	40,350

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県立寿楽苑及び飛騨寿楽苑は開設後相当年が経過し、施設、設備の経年劣化が進行している。

今後の両施設の長寿命化のためには、大規模な営繕工事等を計画的に行い、利用者に安全・安心な生活環境を提供する必要がある。

(2) 事業内容

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| ①寿楽苑エレベーター更新工事 (R7：R8=0：100) | 238,223千円 |
| ②寿楽苑電話交換設備等更新工事 | 46,152千円 |
| ③寿楽苑パッケージエアコン及びエアハンドリングユニット更新工事 | 109,849千円 |
| ④寿楽苑照明設備更新工事実施設計 | 5,826千円 |
| ⑤寿楽苑床張替及び屋外スロープ改修工事実施設計 | 12,200千円 |

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	237	工事現場への出張旅費
需用費	14	事務用品購入費、コピー代
燃料費	13	公用車ガソリン代
役務費	147	郵送料、通信費
委託料	17,881	設計委託料、工事監理委託料
使用料	13	有料道路使用料
工事請負費	393,945	エレベーター更新工事等
合計	412,250	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画

(2) 後年度の財政負担

後年度も計画的な営繕に伴う負担が必要となる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
老朽化が進む県立老人福祉施設の大規模な営繕工事を計画的に行い、利用者の安心・安全な生活環境を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

施設の長寿命化のための各種事業の実施であることから、指標の設定は馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>以下の3事業について実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨寿楽苑本館屋上外壁等改修工事（第1期工事） ・寿楽苑空調設備改修工事 ・寿楽苑空調設備改修工事（2期） <p>利用者の安心・安全な生活環境を維持するため、県立老人福祉施設の大規模な営繕工事及び設計を計画的に実施できた。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和5年度	<p>以下の2事業について実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨寿楽苑本館屋上外壁等改修工事（第2期工事） ・寿楽苑屋根・屋上修繕工事実施設計 <p>利用者の安心・安全な生活環境を維持するため、県立老人福祉施設の大規模な営繕工事及び設計を計画的に実施できた。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・寿楽苑屋根・屋上修繕工事 ・寿楽苑中央監視制御設備更新工事実施設計 ・寿楽苑エレベーター更新工事実施設計 <p>利用者の安心・安全な生活環境を維持するため、県立老人福祉施設の大規模な営繕工事及び設計を計画的に実施できた。</p>
	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	施設利用者及び職員に安心・安全な生活環境を提供するための事業であり、必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	計画的に営繕工事及び設計を実施しており、期待通りの成果が得られている。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	修繕等が必要な箇所を把握するため、岐阜県県有建物長寿命化計画の定期的な見直し等により効率化を図っている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 常に入所者に配慮した工事の実施が求められ、また一定時期に必要な工事が集中する可能性があることから、計画的な実施が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 両施設の優先順位を考慮し、中長期的な計画に基づく事業を実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】